

日本語交流ツアーの夢

です。

先日5泊6日で韓国ソウルでの漢城百済文化祭パレードへ参加する機会がありました。日本側の参加人員が少なかったのですが、ソウルの日本語学院の学生10人にボランティアでわれわれの側に参加してもらいました。ここでわかったことは、日本語を学んでいるが、日本人と対面で話しする機会がほとんどないというのが学生たちの悩みといえますか、強い願望でした。市岡へ来ていて日本語学習者も同じ動機で

きている人が多いのも事実です。そこで、私の夢が膨らんできたのですが、市岡のボランティアで韓国語の日本語学院のようなところを訪問し、日本語の授業を参観し、時間を設けてもらって学生たちと交流するとか、授業が終わったら学生たちといっしょに町へ出かけて観光したり、見物したり、韓国料理をいっしょに食べたり、日本語で交流をすることによって学生たちの願望の少しでもかなえてあげよう。このようなグループ旅行を企画したらどうだろう・・・と考えています。もちろんこのようなこと

を受け入れてくれる学校があればの話ですが。きっとあると思います。とりあえずソウルか釜山で開拓してみたらどうかと思いますが。ご意見をお聞かせください。(二班 班長 柳村 順)

ング、食事、観光等が予定されています。ハーモニーバンドの演奏も含まれています。詳細が決まり次第、柳村さんから紹介があると思います。興味のある方は参加されたいかがでしょうか。(編集子)

ボランティアリレーエッセイ第13回

<充実した生活>

6班 中村みゆき

私が、この市岡国際教育協会のボランティアに来て、今年で5年目になります。

語学にとっても興味がある私は、港区に住んでいる友達の紹介でここへ来ました。初めは、「日本語を教える」ってすごく難しいし不安も抱える一方、「外国人の友達を作りたい、お話がしたい」という軽い気持ちだったのですが、実際やってみると「教える」というより日本語に対して新発見がたくさんあり逆に勉強しに来ている感じでとても楽しくやっています。当初は、今みたいに班編成はなく学習者さんもボランティアさんも少なかったし、学校に来て学習者さんとふれあって終わったらすぐ帰るという感じだったのでボランティア同士の交流をほとんどしていませんでした。(そのせいか各イベントも全然参加していませんでした。)でも、今はいろんな人と出会い知り合うことができ、ある人とはとても気が合いスペイン語と一緒に勉強したり教えてもらったり、遊んだり旅行したりしているのでここまで続けて来てよかったなあと思っています。(気が付けば5年も経って古株だなあと実感している今日この頃です。)

私の最初の学習者さんは、フィリピンの男の子でした。日本語がほとんど話せなかったのが、どんな風に接したらいいかなどとまどいましたが、コミュニケーションをとっているうちにいつしか「教える」というのがやりがいを感じるようになりました。

そんな私の仕事は、2歳から小学生までの子供に英語を教えています。まだ入社して1年半ぐらいなのですが、高校時代にアメリカで習得した英語を仕事に役立てています。それに子供が大好きなので、やっと自分に合った仕事を見つけられたと思います。子供は大人と違って集中力がないけれど、発想豊かでパワフルなのでとても楽しくやっています。

最後に余談ですが、私は97年に「夏色」でデビューしたミュージシャン、デュオ「ゆず」の大ファンで毎年のライブは欠かさず行って盛り上がっています。もしここに来てるみなさんの中に「ゆずっこ」がいらっしゃったら是非私に声をかけて下さいね。

好きな仕事をして、好きなことをして遊んで毎日充実した生活を送っています。今後もいろんな出会いを楽しみにしています。



12月12日 オープンクラスでの柳村さんとハーモニーバンドと学習者のみなさん

新学期は4月9日からです
(学習者の人に各担当ボランティアが伝えて下さい。)